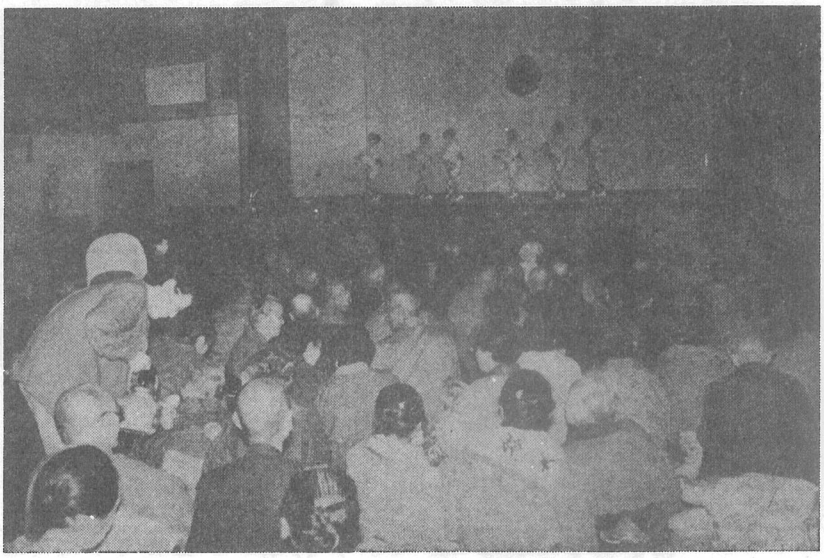
長寿を祝い 敬老会開催



中学校体育館を会場に、十月十七日、七十才以上の高令者七九七名を招待して、恒例の敬老会が開催された。あいにくの雨のため招待者の出足が危ぶまれたが、主催者側の用意したバスにたすけられ、参加者は四百人あまりにおよんだ。午前十時、福祉協議会長伊東巌さんの挨拶について、椎名町長の式辞があり、八十五才以上の高令者五十九名に記念品が送られ、金婚式を向えた十九組のご夫妻に千葉県知事から記念色紙が送られた。

このあと来賓の祝辞、高令者謝辞などがあって式を終り、いよいよ本番の慰安演芸にうつり、三地区保育所のかわいいお孫さん達の踊りや婦人会の舞踊などを織りまぜて次々に披露された。町の給食センターで調理されたイナリ寿しに舌づつみをうちながら、次々にとびだす演芸に、この一日をお年寄達は相好をくずして喜こび楽しんで時のたつのも忘れ、一日の慰安を満喫し、尽きない興奮と楽しみに名残りを惜しみつつ午後三時すぎ散会しました。

なお、今年も次の十九組の金婚夫婦に、千葉県知事から童顔鶴髪の色紙が祝われました。

小堤	神保利作	きく
〃	実川弥三郎	たけ
遠山	小川儀三郎	きく
牛熊	鈴木一	ゑい
〃	土屋章	とみ
〃	鈴木良吉	もと
〃	田鍋武夫	よし
上町	井上平四郎	しげて
両国新田	高宮環	
東町1	真行寺幸雄	みね
鳥喰下	斉藤寛	くに
新島道貫	若林仙太郎	かく
北清水新青	伊藤信治	シナ
〃	伊藤一衛	きよ
新島新田	伊東哲太郎	こう
本町1	潮来松五郎	きせ
東町4	大木浅吉	スカ
栗山2	五木田明	さた
北清水東	伊藤文平	シナ

また、町と町社会福祉協議会からのお祝品の座布団が贈られた高令者は、九十六才の最年長の立会、伊藤つねさんをはじめとして、九十五才一名、九十四才二名、九十三才一名、九十二才一名、九十一才三名、九十才三名と八十五才以上の四十七名の計五十九名でした。

米飯給食希望は 四七%

アンケート保護者の場合

パンの給食が始まってから既に十五年になります。食糧事情の厳しかった始めの頃は食べ残し等が殆んどありませんでした。ところが食糧事情の好転して来た為でしょうか食べ残す子供さんが大分出てまいりました。パンは給食の主食でありますし、カロリーとかして全部食べて欲しい」ということは給食センター運営委員さんを始め給食事業に携わる人達の頭からは一刻も離れない大きな悩みであり、また念願なのであります。少し残パンが多い時等は「パンも約五〇%はパンから摂ることになっておりますので「何食に飽きたのでは?」と考えたりしています、そうした折柄米の豊作、過剰米、と言った問題が出てまいりました。いろいろな会議や寄合いの席でも度々〃米の給食〃ということが話題の中心になってきたのです。学校給食セソターではこうした情勢の対策としまして、第一次は小学校三年以上の学校の子供さん、第二次には各保護者の皆さんにアンケートの御協力をおねがいして見ました。その結果は次の表が示す通りで、米の給食を希望する人は小学生が五四%、中学生は四四%、保護者の方は四七%ということでした。

	小学生	中学生	保護者
ぱんでよい	152	150	310
米飯がよい	389	272	551
どちらでもよい	725	195	1,164

この表を基にしまして、去る十月十五日に運営委員会を開催して二時間近く審議致しました。そして「このアンケートの中で『どちらでもよい』という回答をされた人、特に保護者の皆さんの中には、米食に転換した場合の個人又は町が支出しなければならない負担金等の多寡によっては『いままでどうりでよい』という考えになられる公算も多いので、その負担額等はどの位になるのか、ということも慎重に調べる必要があると思う。それには国や県の補助等交付金の制度等も研究しなくてはならない。すでに九月から実験校として国や県の指導で米飯給食を実施している干潟町東小学校等を視察した上で充分検討して見よう」という答申をまとめました。

視察の結果等につきましては後日再び広報に掲載等の方法でおしらせいたしたいと思います。

自衛官募集

自衛隊では、陸海空自衛官を募集しています。十八才以上二十五才までの日本人男子なら誰でも応募でき、希望する月に入隊できます。

詳しいことは役場企画課へご相談下さい。